

やまとなかしまにし やまとつうじゆんきょう  
九州中央自動車道（山都中島西IC～山都通潤橋IC）  
開通1年後の整備効果について

- 九州中央自動車道は、時間短縮により地域間の連携を強化し、地域産業、救急医療、観光振興を支援するとともに、災害時における代替道路として信頼性の高いネットワークを構築する道路であり、令和6年2月11日に開通しました。
- この度、山都中島西IC～山都通潤橋IC間（延長10.4km）の開通1年後の整備効果についてお知らせします。

**<開通1年後の交通状況>**

- 山都中島西IC～山都通潤橋IC間の開通1年後は、**約5,400台/12hが利用**。
- ・並行する国道445号の交通量は、**約7割減少**。
- ・九州中央自動車道と並行現道(国道445号)を合わせた交通量は**約2割増加**し、交流促進に寄与。
- ・並行現道（国道445号）の交通量が削減したことで、**開通前（R4～5年）は年間3～4件あった人身事故件数が、開通後（R6年）は0件に減少**。

**<開通1年後の整備効果>****■ 熊本市内への救急搬送の速達性・安定性が向上**

- ・**急カーブ箇所や幅員狭小区間等を回避可能**となり、救急搬送時の患者の負担が軽減。
- ・山都町内から熊本市内の第三次救急医療機関までの所要時間が**約12分短縮**しており、**山都町から熊本市等への管外搬送も40件増加**。

**■ 山都町の観光が活性化**

- ・滞在時間の増加と、令和5年9月の通潤橋の国宝指定と相まって、通潤橋の**観光客数は約2割増加**。

問い合わせ先：

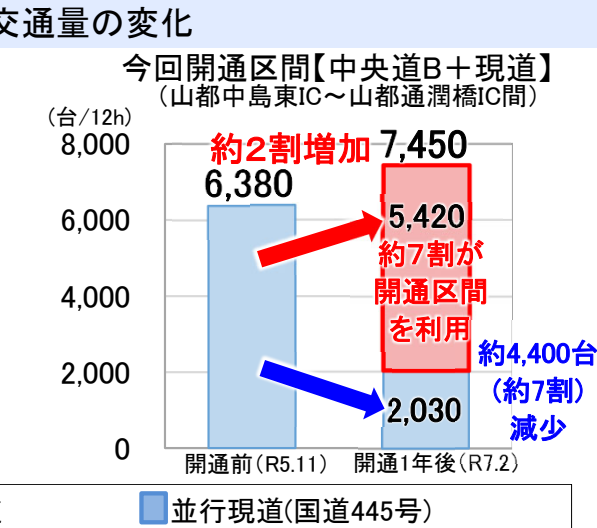
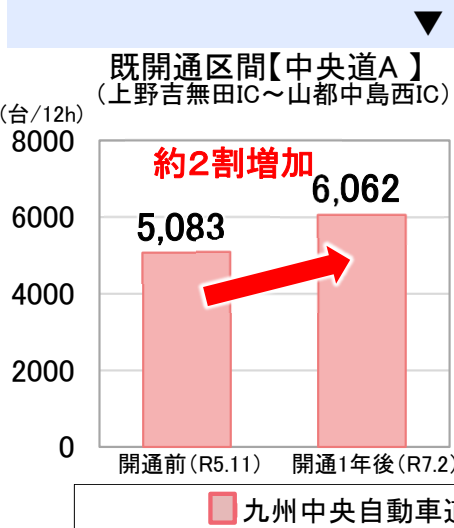
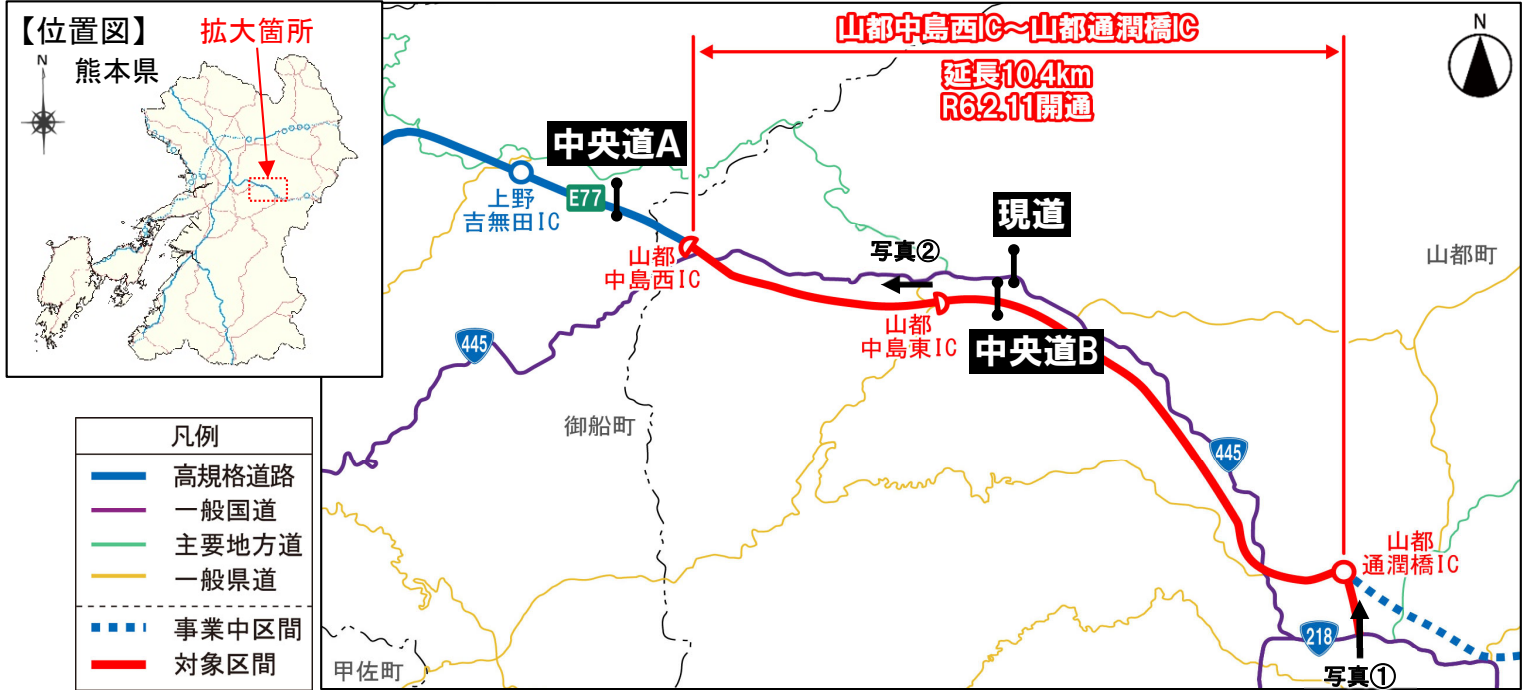
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所（TEL：096-382-1111（代表））

技術副所長 やました おさむ 山下 修（内線205）事業対策課長 ふじもと ともり 藤本 知法（内線461）

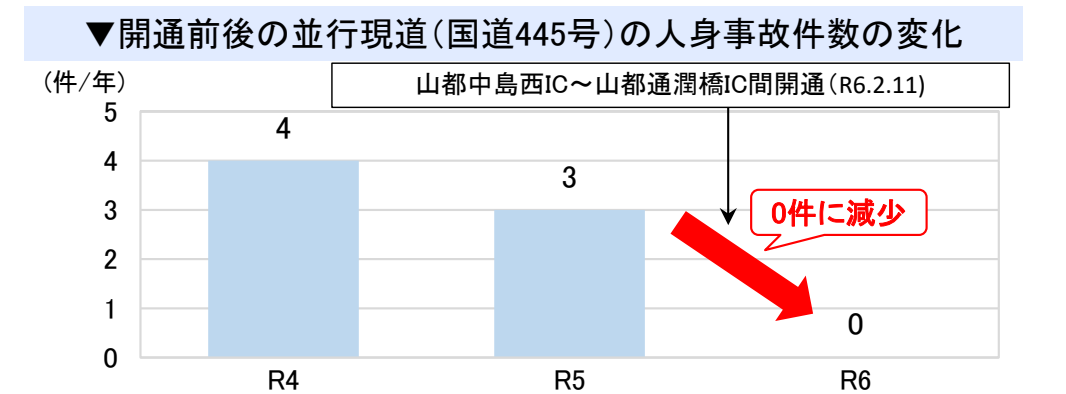
E-mail：qsr-kumamoto-kouhou@ki.mlit.go.jp

URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/

- 九州中央自動車道（山都中島西IC～山都通潤橋IC）が開通してから1年後の交通量は約5,400台/12hとなっています。
- 当該区間への交通転換により、並行する国道445号の交通量は約7割減少しております。
- 九州中央自動車道と並行現道（国道445号）を合わせた断面交通量は約2割増加しており、沿線地域間の交流促進に寄与しています。
- 並行現道（国道445号）では、交通量が約7割減少したことで、開通前（R4～5年）は年間で3～4件あった人身事故件数が、開通後（R6年）は0件に減少しました。



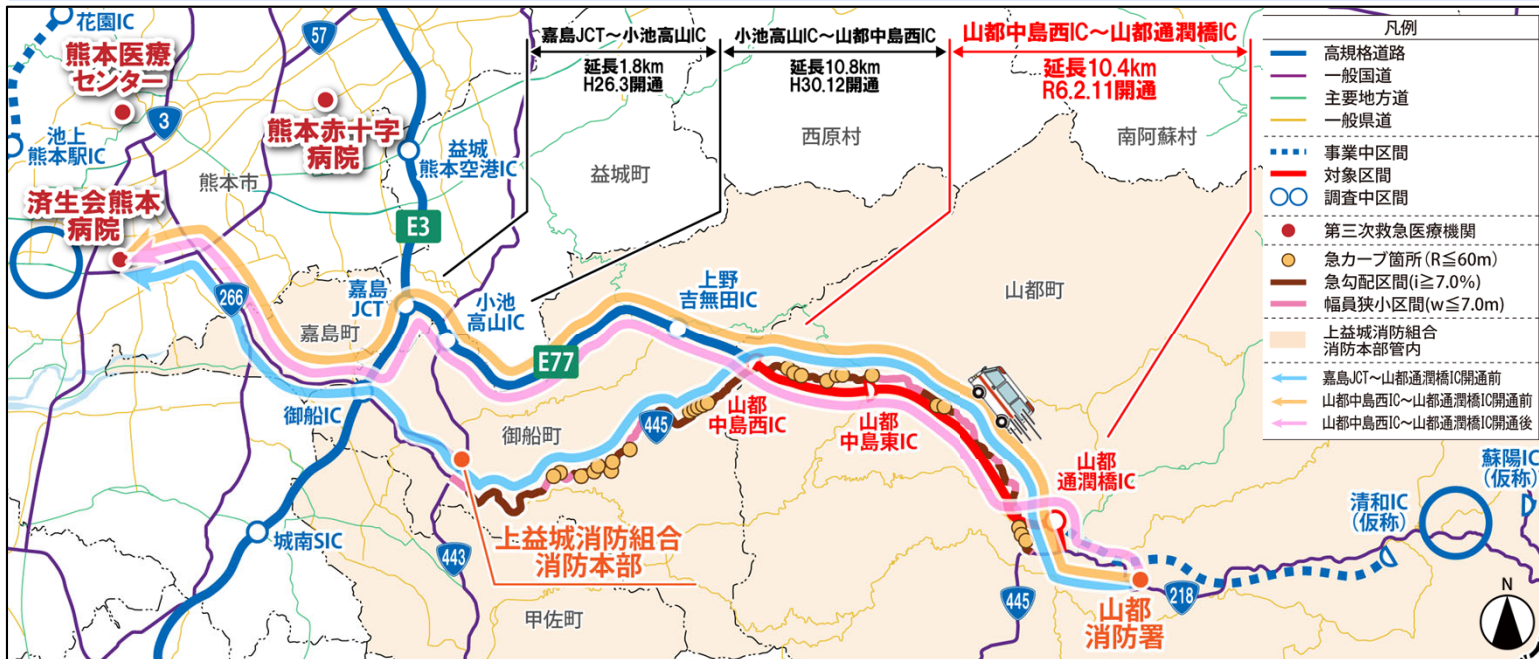
【資料】平日12時間(7～19時)交通量調査結果 調査日:開通前 R5.11.28 開通1年後 R7.2.13



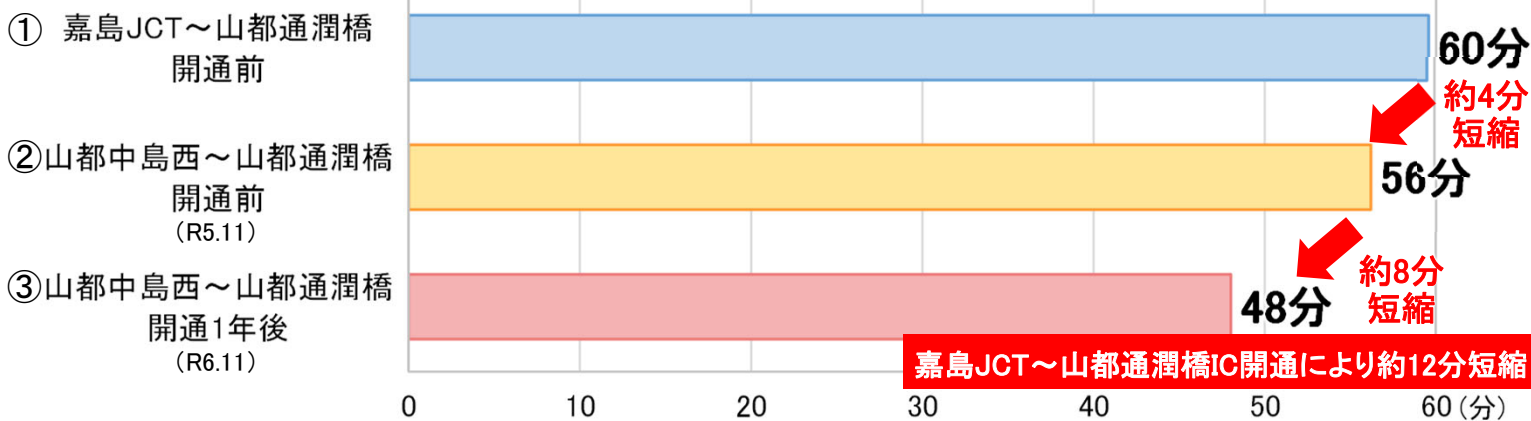
○今回の開通により、救急搬送時に急カーブ箇所や幅員狭小区間等を回避可能となり、患者の負担が軽減されています。

○山都町内から熊本市内の第三次救急医療機関までの所要時間は、嘉島JCT～山都通潤橋開通前と比べると約12分短縮しており、熊本市等への管外搬送も40件増えています。

▼ 山都消防署から熊本市内の第三次救急医療機関(済生会熊本病院)までのルート

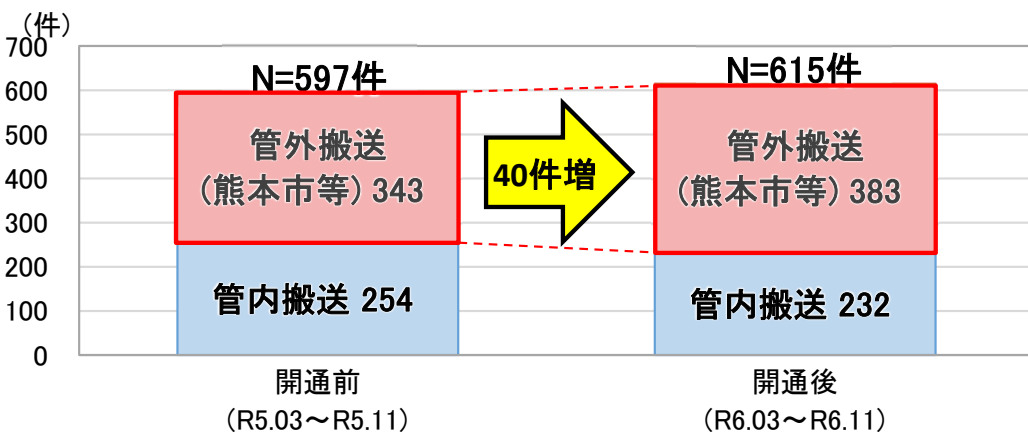


▼ 山都消防署から熊本市内の第三次救急医療機関(済生会熊本病院)までの所要時間



【資料】全国道路・街路交通情勢調査(H22)、ETC2.0プローブデータ(R5.11平日混雑時平均、R6.11平日混雑時平均)  
※県道未満の道路は30km/hで算出

▼ 山都町から医療機関等への救急搬送実績



上益城消防組合消防本部の声

- ・国道445号は、急カーブが多いことに加え、幅員が狭く、振動抑制や車内処置のための低速走行を余儀なくされ、患者の負担となっていました。
- ・山都通潤橋ICまで開通したことにより、熊本市の医療機関に向けた管外搬送の所要時間が短くなっています。
- ・また、国道445号を利用することが少なくなったため、患者の負担が軽減されています。

(R6.12ヒアリング調査)

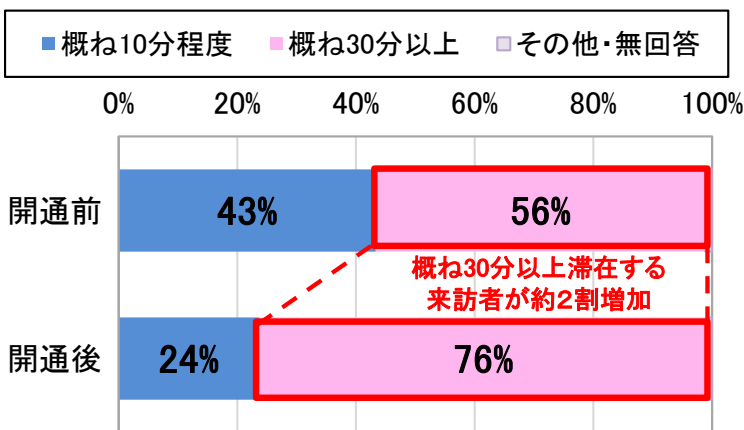
【資料】上益城消防組合消防本部提供

- 九州中央自動車道（山都中島西IC～山都通潤橋IC）の開通後、令和5年9月の国宝指定と相まって、通潤橋史料館の入場者数は約2割増加しました。
- 今回開通に伴う移動時間の短縮により、道の駅「通潤橋」の来訪者の約8割が、概ね30分以上滞在するようになりました。

▼道の駅「通潤橋」の位置図



▼道の駅「通潤橋」における観光目的の来訪者の滞在時間の変化



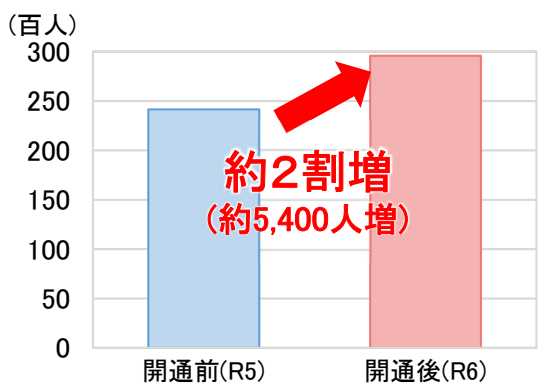
▼道の駅「通潤橋」エントランス

※2 令和6年1月13日に現在の場所へ移転



【資料】道の駅「通潤橋」利用者アンケート調査※1  
 調査日：開通前 R6.2.10(土)、開通後 R6.5.4(土)  
 ※1 アンケート調査は、開通前・後とも、道の駅「通潤橋」(現在地に移転後)において来訪者を対象に実施

▼通潤橋史料館入場者数の変化



【資料】山都町提供



道の駅「通潤橋」の声

- ・山都通潤橋ICまで開通したことにより、遠方からの所要時間が短くなったことで、観光客が来やすくなっています。
- ・当道の駅へ来訪される方の滞在時間も増加していると感じています。
- ・道の駅「通潤橋」移転前施設である通潤橋ミエルテラスも好調と聞いており、合計すると来訪者は格段に増えていると思います。

(R6.12ヒアリング調査)

